

第3回定例研究会報告者募集のお知らせ

2012年4月14日

国際安全保障学会会員各位

ようやく春らしい暖かさとなりました。皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

さて、本学会では、年次大会以外にも研究発表の場を設けて欲しいとの、特に院生・若手の会員に多かった要望に応えるため、昨年度から定例研究会を実施しております。

このたび、第3回定例研究会を、下記の通り実施することが決まり、報告希望者を募ることとなりました。奮ってご応募下さい。また、報告希望者以外の方も、是非この日程をスケジュール表に書き加えて、こぞってご参加下さい。

日時：**7月7日(土曜日)午後2時頃より6時頃まで**

会場：青山学院大学青山キャンパス（詳しい場所は追って通知します。）

司会：未定

報告者：**3～4名程度を予定**

討論者：報告の内容により、中堅以上の研究者あるいは実務家に依頼

参加費：無料

*当日は、高木誠一郎会長も参加予定です。

◎懇親会：研究会終了後に、恒例の懇親会を実施する予定です。高木会長も参加されます。これまで同様、院生・若手の会員（パーマネント・ポジションについていない方）には参加費の優遇措置を考えております。こちらにも奮ってご参加下さい。（後日、研究会への参加希望をお尋ねする際に、懇親会についても申し込みを受け付けます。）

定例研究会は、学会の正式行事として、学会誌と学会ホームページに実施状況を掲載しております。院生・若手の会員への機会提供を一つの大きな狙いとして掲げておりますが、**応募資格に制限は設けません**。会員の皆様には、どうか業績発表の場として積極的にご活用下さい。

なお、定例研究会で報告を行うためには、会費の未納がないことが条件とな

ります。今年度から入会した会員については今年度会費の納入が、過去に未納分のある会員についてはその全額を納入することが、それぞれ必要です。該当する方は、プロポーザルの提出と併せ、会費の納入をお願いします。

つきましては、報告を希望される方は、その内容について以下の項目を含むA4用紙1～2枚程度のプロポーダル（設定は40字／行、36行／ページ前後）を、メール添付で神谷（matake@nda.ac.jp）までお送りください。

1. 基礎情報：報告のタイトル、氏名、所属、肩書き、連絡先（メールアドレスおよび電話番号）
2. 報告内容
 - 2-1 どのような問題を解明しようとするのか
 - 2-2 その問題の解明にどのような意義があるのか
 - 2-3 問題解明の基本的アプローチ（分析枠組み）
 - 2-4 主な結論
3. 締め切り：**5月6日（厳守）**

報告内容については、広い意味での安全保障分野の研究であれば特に制約は設けませんが、理論、地域分析、歴史分析、政策指向研究（政策提言研究を含みますが、その場合は単なる意見の主張ではなく論理的な裏づけを示す必要があります）、実務家の立場からの研究などを期待しています。

採否は、厳正な審査の上決定し、**5月18日まで**にお知らせします。

ご質問がありましたら、神谷（matake@nda.ac.jp）までメールでお尋ねください。

当日のプログラムが決定した段階で、会員の皆様にはあらためてメールにてご案内をお送りする予定です。出席のご希望については、その際お尋ねします。今回のメールには、報告希望者以外はお返事は不要です。

なお、今秋には第4回定例研究会の開催も計画しております。

定例研究会小委員会
委員長 神谷万丈
委員 村田晃嗣
委員 阪田恭代
委員 中山俊宏（ロジ担当）